

令和5年度第2回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和5年10月13日（金）午後2時00分から

2 開催場所 小牧市役所東庁舎5階大会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 地域活性化推進本部 地域連携部長

川本 晃 平
(上野由貴 代理)

名鉄バス(株) 運輸本部 首席交通企画官

大野 淳

あおい交通(株) 代表取締役

松浦 秀 則

愛知県タクシー協会 副会長

安藤 和 人

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

高木 数 馬

公共交通利用促進協議会 会長

安藤 和 憲

小牧市区長会 連合会長

近藤 鎮 彦

小牧市老人クラブ連合会 副会長

浦西 信 治

小牧市女性の会 会計

林 順 子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

宮川 高 彰

(本田慎一郎 代理)

愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長

石屋 義 道

(吉野敬太 代理)

愛知県 尾張建設事務所 維持管理課長

吉金 典 晃

愛知県小牧警察署 交通課長

稲垣 守 之

(細羽俊輔 代理)

小牧市公共交通功労者

小柳 松 夫

犬山市 市民部 防災交通課長

伊藤 修

豊山町 産業建設部 まちづくり推進課長

下村 友 美

小牧市 福祉部長

伊藤 俊 幸

小牧市 建設部長

前田 多賀彦

小牧市 都市政策部長

鵜飼 達 市

(2) 事務局

小牧市 都市政策部 次長

堀場 武

小牧市 都市政策部 都市整備課長

川島 充 裕

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係長

清水 靖 史

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係主査
小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係主事

高 柳 紀公子
宮 田 一 朗

(3) 傍聴者

4名

4 欠席者

尾張小牧タクシー(株) 取締役
公益社団法人愛知県バス協会 専務理事

江 川 修
小 林 裕 之

5 議題

- (1) 小牧市地域公共交通計画の策定の考え方について
- (2) 市民及び利用者等の各種ニーズ調査の実施について
- (3) 自動運転実証調査事業について

6 報告

- (1) こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について
- (2) こまき巡回バス「こまくる」あいち県民の日の無料乗車について

7 会議資料

資料1 小牧市地域公共交通計画の策定の考え方について
資料2-1 市民及び利用者等の各種ニーズ調査の概要について
資料2-2 各種ニーズ調査の項目とねらい
資料3 自動運転実証調査事業について

報告資料1 こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について
報告資料2 こまき巡回バス「こまくる」あいち県民の日の無料乗車について

参考資料 小牧市地域公共交通会議委員名簿
参考資料 小牧市地域公共交通会議設置要綱
配布資料 myroute チラシ
配布資料 エコモビ実践キャンペーン 2023

8 議事内容

【事務局】(川島課長)

大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、令和5年度第2回小牧市地域公共交通会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の川島です。よろしく願いいたします。

それではまず、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

資料は、事前にお配りをさせて頂いておりますが、本日の次第、次に資料1として「小牧市地域公共交通計画策定の考え方について」、資料2-1として「市民及び利用者等の各種ニーズ調査の

概要について」、資料2-2として「各種ニーズ調査の項目とねらい」、資料3として「自動運転実証調査事業について」、報告資料1として「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、報告資料2として「こまき巡回バス「こまくる」あいち県民の日の無料乗車について」、参考資料として「小牧市地域公共交通会議委員名簿」、及び「小牧市地域公共交通会議設置要綱」でございます。

これらの資料につきまして、本日お持ちでない方や、不足等ございましたら事務局までお知らせください。

ありがとうございます。

また、本日は、名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部長の川本委員に代わり、同地域活性化推進本部交通サービス担当課長補佐の上野様、中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の宮川委員に代わり、同首席運輸企画専門官の本田様、愛知県都市・交通局交通対策課担当課長の石屋委員に代わり、同交通対策課主事の吉野様、愛知県小牧警察署交通課長の稲垣委員に代わり同交通課総務係長細羽様にご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。なお、尾張小牧タクシー株式会社取締役の江川委員、公益社団法人愛知県バス協会専務理事の小林委員におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。

また、事務局といたしまして、本日配布させていただきました資料の、配席図にてご紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、小牧市地域公共交通計画策定等支援業務委託のプロポーザルを実施した結果、株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店が最優秀者に特定され、令和5年8月9日に契約を締結しましたので、本日同席させていただきます。

それでは事務局を代表いたしまして、都市政策部次長の堀場より挨拶を申し上げます。

【事務局】（堀場次長）

皆様、改めましてこんにちは。都市政策部 次長の堀場でございます。

本日は、ご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃より、本市の交通政策に、ご指導、ご助言を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、本日は、議題として、小牧市地域公共交通計画策定の考え方や、各種ニーズ調査の実施、自動運転実証調査事業について、また、報告事項といたしまして、こまき巡回バス「こまくる」の利用状況や、あいち県民の日の無料乗車について、ご説明をさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

【事務局】（川島課長）

本日の出席委員は20名でありますので、委員総数22名の過半数に達しております。

従いまして、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立をいたしております。

また、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第5項の規定により、本会議は原則として公開することとされております。本日は、4名の方から会議傍聴の申し出がありましたので、ご報告申し上げます。

それでは会議を始めるにあたりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろしくお願いたします。

【磯部会長】

皆様、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

コロナなどの感染症もちょっと落ち着きがでてきており、そうしましてもインフルエンザなど色々な感染症とは付き合っていかなければしょうがないというのもありますから、引き続き要注意でやれることをやっていくということだと思います。

暑い夏もやっと終わって秋になりました。行楽シーズンです。そうすると、コロナも落ち着いた行楽シーズンで皆さん、お出かけしたいというわけで、色々とイベントや行事などを計画されていると思います。

しかし、本当に皆様で自由に移動できるかということ、ご自身で運転できる方はよろしいでしょうが、そうでないと、乗り物が自由に使えるかということ、かなり厳しくなってきております。

今のところはいいかもしれませんが、安定してちょっと先の未来まで出来るかということ非常に不安なことがあります。また後から、皆さんから色々議論があると思います。

特にそれが地域ごとによって課題が違います。愛知県の中でも小牧市と名古屋市とでは形が違い、さらに隣の県の岐阜県や三重県ではかなりの違いがあります。

ということで、地域の中で我々の交通というものを考えていかなければ答えはでない。他所の町ではいいことをやっているからといってモノマネをしても、成功するとは限らないということもありますので、この地域に合った交通の形を皆さんと一緒に考えていきたいと思しますので、皆さんの普段のご活躍などをご紹介していただきながら会議を進めていきたいと思しますので、よろしくお願いたします。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。それでは議事に移ります。議事の進行につきましては、磯部会長にお願したいと思っております。磯部会長、よろしくお願いたします。

【磯部会長】

それでは、会議を進行してまいります。まず初めに、議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定の考え方について」であります。この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（清水係長）

それでは、議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定の考え方について」、ご説明申し上げます。お手元の資料1をご覧ください。

始めに、小牧市地域公共交通計画の策定の趣旨についてですが、策定の趣旨については、令和5年度第1回小牧市地域公共交通会議の議題において説明させていただきましたので割愛させていただきます。

次に、計画期間であります。本計画の計画期間は、計画策定（令和7年3月）から5年後である令和12年を目標年次としています。

続きまして、2ページをご覧ください。「3 計画の位置付け」及び「4 計画策定体制」につい

てです。本計画は、愛知県が定める「愛知県地域公共交通計画」と本市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画」、「小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に即す計画で、関連計画との整合・連携をとりながら策定いたします。また、策定にあたっては、市民や利用者の方々の声をお聴きするため、アンケートや地域懇談会、パブリックコメントを実施し、それらの意見を踏まえ計画の策定を進め、本会議での協議を経て策定していきます。

続きまして、3ページになります。策定スケジュールについてです。計画策定及びこまき巡回バス再編の全体のスケジュールをA3の資料として添付しておりますのでご覧ください。

計画策定は、令和5年度、令和6年度の2ヵ年をかけて実施し、こまき巡回バス再編は令和5年度から令和7年度の3ヵ年をかけて実施し、計画策定と再編業務を併せて進めてまいります。今年度は、11月に各種アンケート調査、地域懇談会を実施し、それらの結果を踏まえて、計画の策定方針や、こまき巡回バスの再編方針を検討します。令和6年度の4月に開催予定の地域公共交通会議でそれらについて協議いただきます。その後、5月頃に改めて地域懇談会を実施し、市民や利用者の方々に、計画の策定方針、こまき巡回バス「こまくる」の再編方針などを示し、ご意見をいただきます。その後、11月に計画案、再編案に関するパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえて計画案、再編案を修正し、令和7年1月頃に開催予定の地域公共交通会議で協議をいただいた上で、令和7年3月に小牧市地域公共交通計画を策定します。令和7年度は、令和6年度に策定した計画を踏まえて最終的なこまくるの再編案を作成し、5月頃に開催予定の地域公共交通会議で協議いただき、7月頃から再編に向けた各種業務発注を実施します。そして、令和8年4月に再編運行を開始したいというスケジュールで考えております。

なお、小牧市地域公共交通会議は、今年度は3回、令和6年度も3回、令和7年度に1回の開催を予定しておりますのでよろしくお願いたします。

資料1にお戻りいただき、3ページをお願いします。

続きまして、本計画策定における課題整理、アンケート調査・地域懇談会の概要についてです。

「6 課題整理の概要」の内容として、本計画の策定にあたり、(1)公共交通の現況整理、(2)現計画(網形成計画)の評価及び本市の現況整理、(3)市民・利用者等のニーズ、利害関係者の意見等の把握などの観点を踏まえ課題を整理し、本会議において協議いたします。

次に「7 アンケート調査・地域懇談会の概要」について、これらの課題を把握するために、アンケート調査や地域懇談会を実施します。アンケート調査の詳細は、議題(2)において後ほど説明させていただきます。

4ページをご覧ください。(2)地域懇談会と記載しております。地域住民の声を聞く場として、市内を4地区に区分して地域懇談会を開催したいと考えております。1回目は11月、2回目は翌年度の5月頃に開催したいと考えております。

続きまして、「8 計画のイメージ」についてです。4ページをお願いします。計画策定については、活性化再生法第5条に規定された、国が定める基本方針に記された4つの目標について、目標を達成するために行う事業の項目を、本市の状況に照らし、整理しました。また、達成状況の評価に関する事項、計画に掲げる事業等の進捗状況等は本会議に報告し、毎年度評価を行います。

目標1の住民の基本的な生活と社会参加の機会の確保では、①公共交通の官民連携強化と利便性向上、②広域的な公共交通ネットワークの充実・強化を、目標2の地域社会全体の価値向上では、①小牧市内の拠点相互の連携強化、②中心拠点の活性化、③集約型市街地形成の支援、④観光振興施策との連携を、目標3の安心・安全で質の高い運送サービスの提供等では、①持続可能で事故や

危険のない運送サービスの維持を、目標4の新たな技術やサービスの活用による利便性向上の促進では、自動運転の実証調査を通じて、実用性の検証などを掲げました。今後、計画策定を進める中で、それぞれ具体的に記載していきたいと考えています。

以上で議題(1)「小牧市地域公共交通計画の策定について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

小牧市で地域公共交通計画をつくっていかうということですが、それに対してどういうような内容を盛り込んでいけばいいかというご提案であります。

これについて、皆さんご質問、ご意見等ございましたら、お受けいたしますがいかがでしょうか。

【小柳委員】

懇談会は4地区としているが、2日間なので1日2回実施するということか。周知はどうするのか。

【磯部会長】

その辺のより具体的な話を聞きたいと思います。よろしくお願いします。

【事務局】(清水係長)

地域懇談会について、具体的には11月3日、金曜日の祝日になりますが10時から北里市民センターで、同じく3日の金曜日に午後2時から東部市民センターで開催いたします。次に11月5日の日曜日に10時から小牧市役所の東庁舎の大会議室で、同じく5日の午後2時から味岡市民センターで行う予定をしております。

それぞれ、小牧市の10月号の広報に案内を掲載させていただいた他に、小牧市のホームページに掲載させていただいておりますので、よろしくお願いたします。

【磯部会長】

連日になりますが、皆さんご参加をお願いします。

他、よろしいでしょうか。

少し説明いたしますと、公共交通とはどこまでが公共交通かという話題は、常に色々なまちで行われています。現実としては鉄道・バス・タクシー・市町のコミュニティバスがありますが、それに準ずるものも大いに検討に入らと思うので、企業アンケート等で企業の送迎等も色々なものが入ってくるというのをご理解いただきたい。

計画のイメージで目標1～4とありますが、目標1は何かというと、交通というのは交通そのものには意味があるのかというと、意味がある場合もあるが、だいたい意味はなく、行った先で何かをするために移動するわけです。では、皆さんが行った先でどんなことが出来るようになるのか、そこが皆さんの社会参加ということでございます。皆さんの活動が活発になるようなまちにしたいと思い、そのための道具として交通がある。単に交通だけが良くなっても、まちの方が積極的に活動をしたくないというのであれば話が変わってしまう。そういったまちの雰囲気、活動に合わせて考えていきたい。

目標4の新たな技術については、新しい技術がいつ頃使いやすくなるのか、本当に実現できるのか、どれだけのものになるかは見えないが、見えないから何もやらないのではなくて、見えないから逐一検討をして、このまちに合ったものを探していくということです。それが全てこのまちに合って適しているとは限らないので、そういうことも考えていこうということであると思います。新しいことに対して興味を持っていただいて、本当にこれがこのまちのこの部分で使えるか、一緒に考えていただけると良いと思います。

皆さんから何かございますか。

【安藤委員（公共交通利用促進協議会）】

8の計画のイメージについて、活性化再生法に規定された4つの目標とありますが、その中で目標4の7つの項目立てはどこでどのように検討されてここに出てきているのか。ここに出てきたということはこれ以上検討の余地がなく、十分に検討しつくされたものなのか。これについてこれから具体的に皆で考えていったらよいのか。ここに出てきたことだけでよいか教えていただきたい。

【磯部会長】

目標にあげた項目の経緯や、また今後それが変わるのか、自由になるともっとできるのかどうかということについてお願いします。

【事務局】（川島課長）

ご質問いただいた4つの目標について、ここに記載した国が定める基本方針というのは目標1～4についてであります。今、委員からご指摘の目標4の7つに項目については、事務局で小牧市の現状を把握したうえで、新たな技術やサービスの活用による利便性向上の促進として考えられるものを掲載しています。後ほど説明させていただきますが、今後のニーズ調査等で、現状をさらに深く把握したうえで、さらに具体的に記載したいと考えています。また新たな項目があれば項目も追加していきたいという考えです。

【磯部会長】

かなり重要度の高いことだと思います。ありがとうございます。
他にいかがでしょうか。

この議題(1)「地域公共交通計画の策定の考え方について」は、原案は説明していただいたとおりで異存なしということによろしいでしょうか。

《異存なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。

議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定の考え方について」は、原案のとおり事務局に進めてもらうことといたします。

続いて、議題(2)「市民及び利用者等の各種ニーズ調査に実施について」であります。この件につ

いて、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（清水係長）

それでは、議題(2)「市民及び利用者等の各種ニーズ調査の実施について」、ご説明申し上げます。お手元の資料の2-1をご覧ください。

市民及び利用者等の各種ニーズ調査の概要についてです。

表の上部に「調査の趣旨」として3点あげてあります。

一つ目として、市民・利用者のニーズと市民・利用者から見た課題の把握をする。二つ目として、現計画（小牧市地域公共交通網形成計画）に掲げる目標の達成状況を確認する。三つ目として、調査結果を踏まえ、小牧市の公共交通の今後の方向性を検討する。ということで、この三つを趣旨として実施をいたします。

次に表をご覧ください。表の一番上の段に各種ニーズ調査の種類を記載してあります。また、表の一番左側に「ねらい」「主な内容」等を記載してあります。

まず、市民アンケートにつきましては、①ねらいは、市民のニーズと市民から見た交通サービスの課題の抽出、網形成計画で定めた目標の達成状況の確認、計画の方向性やこまくる再編に対する意見の把握であります。②主な内容は、公共交通の利用状況や満足度、重要度、こまくるの今後の方向性、市内の公共交通の維持・活性化についておたずねします。③対象は、15歳以上の市民3,000人を対象として実施します。

続きまして、バス乗降調査につきましては、①ねらいは、利用者ニーズとバスサービスの検証等、バス交通の課題の抽出であります。②主な内容は、バス利用者の具体的な利用状況をおたずねします。③対象は、市内を運行する民間バス路線を対象に実施します。なお、こまくるに関しては、乗降データを活用し、調査を実施します。

次に民間の路線バス、こまくるの利用者アンケートにつきましては、①ねらいは、バス利用者のニーズとバス利用者から見た交通サービスの課題の抽出、網形成計画で定めた目標の達成状況の確認、計画の方向性やこまくる再編に対する意見の把握であります。②主な内容は、公共交通の利用状況や満足度、重要度、こまくるの今後の方向性、市内の公共交通の維持・活性化についておたずねします。③対象は、各民間の路線バス、こまくるの利用者を対象として実施します。

次に、高速バス利用者アンケートにつきましては、①ねらいは、高速バス利用者のニーズと高速バス利用者から見た高速バスサービスの課題の抽出であります。②主な内容は、高速バスの利用状況や満足度、重要度、こまくるの今後の方向性、市内の公共交通の維持・活性化についておたずねします。

企業・従業員アンケートにつきましては、①ねらいは、通勤での公共交通利用拡大に向けた現状とニーズの把握、課題の抽出であります。②主な内容は、通勤における交通手段や、通勤での公共交通利用の可能性とその条件についておたずねします。③対象は、市内に立地する従業員50人以上の事業所及び従業員を対象に実施します。

最後に、交通事業者等へのヒアリングにつきましては、①ねらいは、公共交通の安全性、定時性の確保に向けた課題の抽出や、公共交通の利便性向上に資する施策・事業の抽出であります。②主な内容は、運行上の問題点や課題、公共交通の利便性を高めるアイデア等、公共交通の維持・活性化に向けた聴き取りを行います。

なお、各種ニーズ調査の実施方法、実施時期については記載のとおりであり、資料の2-2で、

各種ニーズ調査の具体的な調査項目と調査のねらいをまとめております。

また、各種ニーズ調査以外にも、先ほど議題(1)でご説明させていただいた11月3日と5日に市内4箇所地域懇談会を開催します。

議題(2)「市民及び利用者等の各種ニーズ調査の実施について」の説明は以上です。

【磯部会長】

ありがとうございました。議題(2)の内容を大枠で説明していただきました。

この件について、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。いかがでしょうか。別の調査方法や、対象者などありましたら、今のうちに聞いておいていただければと思います。

【本田委員代理】

路線バス利用者と高速バス利用者に、こまくるの今後の方向性等についても意見を求めるというのは、どういう意図からするのか。

【事務局】(清水係長)

こまくるについては市も力を入れており、市内23路線17台ということで、かなり充実したものだと思います。民間の路線バス、高速バスの利用者もこまくるについて何かお考えを持ってみえるかもしれないし、こまくるを利用している可能性もあるので、そういった方にも可能な限り広くこまくるについても意見をうかがいたいということで入れさせていただいています。

【本田委員代理】

そういうことなら、逆にこまくる利用者に路線バス、高速バスに関する意見を聞いてもいいのではと思いますのでご検討ください。

【安藤委員(愛知県タクシー協会)】

資料2-1の交通事業者等のヒアリングにタクシー会社が入っておりますが、小牧市の計画の中にはラストワンマイルについて触れていないが、タクシーも事業者ヒアリングを行うのか。公共交通体系の中にタクシーが入っていないのではないかと。

【事務局】(清水係長)

地域公共交通計画は市内の交通を総動員で計画を考えるといわれておりますので、当然、公共交通の中にはタクシーも入っていて、ラストワンマイルに限らず公共交通全てを網羅して、関係者には出来る限り聞き取りを行いながら計画を策定したいと考えておりますので、お忙しいとは思いますが、出来ましたら聞き取り等にもご協力いただければと考えております。

【安藤委員(愛知県タクシー協会)】

公共交通体系の中にバスの他にタクシーを使うという事は見当たらないので、そういった部分で我々の位置付けはどうなのか。他の町ではあるので。タクシーは入っていないのかと。

【磯部会長】

検討中だと思います。色々な取組みの使いこなしたと思うので、交通事業者ヒアリングは自由形式で行われると思いますので、色々なところでディスカッションしていただけたらいいと思います。乗り物の組み合わせをどこで検討するかということでございます。

【事務局】（川島課長）

地域公共交通計画につきましては、先ほど考え方をお示させていただきましたが、これから具体的に内容を検討していくものでありますので、事業者ヒアリング等を通して、貴重なご意見をお聞きする中で、計画への記載を検討させていただければと思います。

【磯部会長】

タクシー会社としての考えや案などを事業者ヒアリングの中でご提案いただければいいかと思えます。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

既に、バス停まで利用のタクシーなどやっているが、交通会議の中でタクシーを組み込んでいくという話であればわかりますが、今のところそういった話はないので。

事業者からの提案というよりは、むしろ市の方で提案していただきたいと事業者からは思う。

【磯部会長】

フリーディスカッション形式だろうと思いますので、よろしくお願いたします。ありがとうございます。

他に、いかがでしょうか。

これから次から次へと調査を実施していきますので、関係の皆様にはよろしくご協力をお願いいたします。

議題(2)「市民及び利用者等の各種ニーズ調査の実施について」は、原案のとおり事務局に進めてもらうことといたします。

続いて、議題(3)「自動運転実証調査事業について」であります。この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（清水係長）

それでは、議題(3)「自動運転実証調査事業について」、ご説明申し上げます。お手元の資料3をご覧ください。

本市のこまき巡回バス「こまくる」につきましては、市内23路線を17台のバスで運行し、市民の日常生活の足を支えています。今後の乗合バスの乗務員不足の対策の一つとして、日進月歩で技術開発が進む自動運転について、本市として、早急に情報収集、分析、検討などを行い、導入の検証を進める必要があります。

このため、自動運転を導入した車両を実地で運行し実証調査を行うことが補助対象となる、国土交通省所管の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の交付を受けるため、本年7月に応募し

たところ、9月4日に補助金の内定があったことから、令和5年第3回定例会において事業費の補正予算案を提出し、9月14日に議決をされました。

実証調査のスケジュールにつきましては、9月から11月にかけて自動運転実証調査事業支援業務委託プロポーザル審査委員会において業者選定を行うとともに、公安委員会や道路管理者などとの関係機関協議を進め、業者決定後の12月から来年2月にかけて、自動運転の車両が走行するルート of 3Dマップの作成や新たなバス停の設置など準備業務を行います。

また、来年3月上旬に国へ実証調査結果を報告する必要などがあることから、自動運転の車両が走行する実証調査の期間は、2月中旬から下旬にかけて2週間程度を想定しております。

なお、実証調査のルートにつきましては、本市の中心市街地における観光振興やまちづくりへの有効性などに関しても検証したいと考えているため、「小牧駅」から小牧山「れきしるこまき」間を予定していますが、今後、実証調査の事業者や関係機関等と協議を行い、路線バスや一般車の交通への影響を踏まえて、ルート・ダイヤなどを決定したいと考えています。

議題(3)「自動運転実証調査事業について」の説明は以上です。

【磯部会長】

ありがとうございました。この件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

【大野委員】

実証調査について、まだ確定していない部分もあり、これから検討していただけるということですが、小牧駅～小牧山間には名鉄バス、こまくるが走っています。また、さらに一般の車両の通行も多く、交通の混乱が危惧される。周辺には市民病院もあり緊急車両も通る事も配慮すべきではないかと思います。これらを踏まえて、経路については市民の交通への影響も考慮することが望まれると思います。

実証調査をされること自体は非常に良いことだと思っているので、協力はさせていただくが、経路については十分に考慮をお願いします。また、その後決定した経路については小牧市の考えに従います。

【事務局】(川島課長)

まだ事業者が決定していないので、今後、実証調査の事業者、公安委員会、道路管理者、民間路線バスの運行事業者であります名鉄バス様、あおい交通様などと協議を行い、路線バスや一般車の交通への影響を踏まえて、ルートやダイヤなどを決定したいと考えております。

【吉金委員】

まだ経路が決まっていないので想定となりますが、もし県道を走ることになれば、愛知県では初めてとなります。他の市町を参考にするとすれば時速20km程度で交通量が多いと渋滞が予想されます。緊急車両や大型車両が走ると155号以外のところでは片側1車線となる中を走行ということになるので、我々道路管理者及び警察等々と協力してルート選定をお願いしたいのと、渋滞の多い朝や夜間を除いた昼間の限定走行をお願いしたい。

他市であると、道路の維持管理が追い付いておらず、路肩の草に反応して緊急停止する事例もあ

ると聞くので、現場をしっかりと確認してからお願いしたい。

【事務局】（清水係長）

関係機関と十分に協議をしてから行いたいと考えていますので、その際はよろしくお願ひいたします。

【本田委員代理】

自動運転を実施した市町では相当な渋滞が発生して、一般の方が憤慨するケースもあると聞いているので、関係者としてしっかりと協議していただき、色んな状況を想定して実施していただきたい。

【磯部会長】

自動運転の技術は未完成です。実験場では上手くいっても実際の街中となると心配な事が多くあります。その中でどんな課題があるのかを探して、その課題をつぶしていく段階に入った状態です。だから実験をしてくれるまちを探しています。各地域にしてみれば我がまちに合うようなシステムにして欲しいという狙いがあり、我がまちに合う形にしてほしいという狙いで応募して、このまちの課題を解決してほしいと思っている。色々と調整しながら進めていく必要があります。

調査の目的は何かという点を、技術を持った会社と行政側と地域とで話し合っただけ進めるということです。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

自動運転の実証調査は公共交通会議の協議事項なのか。事故などのリスクをこの会議で決定するのは不安である。経過報告等にしていただかないと良くないと思います。

【磯部会長】

確かに議事になっていますが、報告としてもいいかもしれません。

【事務局】（川島課長）

自動運転実証調査は明確に公共交通会議の協議事項として定められていませんが、既存の公共交通と関連があるということで協議事項としてあげています。今後、事業者が決まり、調査内容が具体的になった時点で再度協議いただければと考えています。

【磯部会長】

予告ですね。皆さんの車が走っている中で調査をやっていくので、今後、協議もしていかなければならないかなと思います。

今日のところは報告ということでよいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【小柳委員】

近い将来に必要なものだと思います。中心拠点で実施するものなので、市民生活を混乱させないよう、十分に配慮しながら進めていただきたい。

【磯部会長】

今後の具体的なスケジュールは決まっていますか。事業者やルートが決まる時期や、ルール選定の時期、実際の調査は2月末となっているが、どの辺で調整が入るか等、目安があれば教えていただきたい。

【事務局】（清水係長）

事業者の決定は既にプロポーザルで審査委員会が設置されて進んでおり、第1回審査委員会が9月20日に行われています。11月末に業者の決定を予定しています。

今後の具体案については、関係者の皆様方と十分協議しながら決めていきたいので、その際はよろしくお願いたします。

12月～2月にルートなど詳細を詰めて準備していく予定で、その前段階として関係各所の皆様方と協議をしながら詰めていきたいと考えています。

【磯部会長】

今の話でいうと、どういう時間帯をとるのかなど気になった点もあるので、その辺も詰めつつ、関係者等との協議を進めていって、整った段階で本会議で協議が出来たという形をとった方が良いと思います。

【事務局】（川島課長）

スケジュールについて、関係機関と調整して、調査内容が具体的にになった段階で本会議で改めて協議をさせていただきたいと思います。

【磯部会長】

どういう形で協議するかは置いておいて、何らかの協議はするという事によろしいでしょうか。

【事務局】（川島課長）

はい。

【磯部会長】

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

続きまして、次第の「3 報告」事項に移りたいと思います。

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（清水係長）

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料1をご覧ください。

上の表は、令和元年の4月から令和5年の9月までの月ごとの利用状況を棒グラフで表しております。

下の表は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度の乗車人数と新型コロナウ

ウイルス感染症が流行しました令和2年度以降の乗車人数について、月ごとの比較を折れ線グラフで表しています。令和元年度と令和2年度の比較を青色、令和元年度と令和3年度の比較を黄緑色、令和元年度と令和4年度の比較を赤色、令和元年度と令和5年度の比較を黄色の折れ線グラフで表しております。

令和5年度は、グラフのとおり、100%以上まで乗車人数が回復しているところであります。報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」の説明は以上です。

【磯部会長】

この件について、皆さん、ご質問やご意見等ございませんか。

令和元年との比較というかたちで整理してあります。元に戻ったということかと思えます。

こまくるの話をしましたが、関係して他の交通の状況について、名鉄小牧線の利用状況について名古屋鉄道上野課長補佐様からお願いします。

【上野委員】

小牧線に限定した数字は現時点では出せませんので、全線での報告となります。

利用状況は、2023年の4～8月の前年度比が10%弱の増加となっております。しかし、令和元年度比で申しますと10%前後の減少がまだ続いている傾向となっております。

【磯部会長】

続いて、名鉄バスの利用状況について名鉄バスの大野首席交通企画官様よりご報告をお願いします。

【大野委員】

先程のこまくと似たような数字が出ております。

前年比で110%です。小牧から春日井路線、小牧から勝川路線、小牧から岩倉の3路線で同じような傾向でございます。

ただ令和元年度比ではそこまで伸びてはならず、小牧春日井路線では92%、小牧勝川路線は102.1%、小牧岩倉路線は87.8%となっております。

全線での利用状況は2週間前に90%を超え、やっと少し回復してきたところです。

【磯部会長】

続いて、ピーチバス、桃花台バスの利用状況についてあおい交通松浦代表取締役様よりご報告をお願いします。

【松浦委員】

同じような状況で、前年度と比較すると10～20%ほど上がっておりますが、コロナ前と比較すると80%程度の推移であります。

【磯部会長】

続いて、市内のタクシーの利用状況について愛知県タクシー協会の安藤副会長様よりご報告をお

願います。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

名古屋交通圏はコロナ前より増えていますが、需要のアンバランスがあり、小牧・江南・春日井はまだ3割減で厳しい状況です。飲食店が夜の営業をやめられたりしているのが大きな原因だと考えています。

それが、(計画策定の考え方の) 5 ページの目標 3 で運転者等の人材不足の改善とあります。現在国交省でパブリックコメントが行われておりまして、規制緩和が行われています。一つは、地方の公共交通に関しては、今までバス・タクシーは2種免許が必要でしたが、タクシーについては普通免許で、ある一定の条件の下であればタクシーの運転が可能ということで、警察当局も一応了解しています。タクシーを公共交通に組み込むというのが条件となっているので、小牧市もそれを利用して、タクシーを普通免許で運転させれば良いと思います。

外国人労働者が運転手として働いているが、物流を中心に動いており、3年という期限である。喫緊の課題となっていて、東京の方ではかなり進んでいる。あまりにも向こうは進んでいて、地方は遅れている。

また、車両では、ジャパントクシーは400万円近くするので、現在シエンタという安価な車両を使っている。これについても国は補助をしていきたいということで、公共交通への補助金が1200億円あって、振り分けられることになる。総動員という言葉を実体的にどう実現するかが重要。

【磯部会長】

ありがとうございます。こまくるをはじめ、それぞれの交通機関の利用状況、減収減益等をご報告いただきましたが、これについてご意見、ご質問等ございましたら、また報告等ございましたら願います。

私からですが、コロナに関係なく、高校生の数が減っています。少子高齢化ですね。中学までは近所ですが高校になると公共交通を使って通学となるので、大切なお客さんだったと思います。それが減っているので、なかなか元に戻るの厳しい。

働き方もテレワークに慣れてきて、毎日行かなくても週1回とかで仕事になる方も出てくると、通勤交通量が減ってくる。何が一番幸せかが難しい時代になってきた。

その中でも本当に必要としている人もいますので、確保していかなければならないと思います。

次に報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」あいち県民の日の無料乗車について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(清水係長)

それでは、報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」あいち県民の日の無料乗車について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料2をご覧ください。

あいち県民の日は、愛知県が令和4年に県政150周年を迎えたことを契機として、11月27日を「あいち県民の日」とする条例が定められ、「あいち県民の日」を含む直前1週間を「あいちウィーク」とし、期間中の県の施設等が割引や無料で利用できるほか、愛知県の魅力を発信するイベント等が各地で行われ、県内の学校では、「あいちウィーク」期間中の1日を「県民の日学校ホリデー」

に指定し休業日とするとのことです。

小牧市においては、公立の小・中学校を 11 月 24 日（金）に休業日とすることとしております。このことに伴い、11 月 24 日（金）の終日、こまき巡回バス「こまくる」の小・中学生の利用料を無料とします。

実施内容といたしましては、「県民の日学校ホリデー」に該当する 11 月 24 日（金）の終日、「こまくる」の全路線、全便の小・中学生の利用料を無料とします。また、無料とした「こまくる」の利用料については、市が負担いたします。周知方法といたしましては、市広報こまき 11 月号、市ホームページ及びバスロケーションシステムに掲載するほか、バス車内に掲示して周知いたします。報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」あいち県民の無料乗車について」の説明は以上です。

【磯部会長】

ありがとうございました。報告(2)の件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。いかがでしょうか。

【大野委員】

「愛知県民の日」の無料乗車というのは非常に良い取組みだと思います。毎度名鉄バスとしてお願い申しあげていますが、是非、こまくるだけでなく民間事業者も入れていただいて、公共交通を全体として使っていただけないかというお願いでございます。

他の行政様でも「愛知県民の日」無料という、色々な自治体様が運用されております。他の行政様にもご提案させていただいておりますが、今年度については予算がないという事を承知しております。次年度におきましては、是非とも行政様の方で調整いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【事務局】（川島課長）

民間路線バスについては小牧市内だけではなく、他市町間も運行している路線が多くあります。利用者の確認方法や費用負担の方法など、引き続き名鉄バス様、また、あおい交通様と協議させていただきたいと考えています。

【磯部会長】

是非、来年に向けて今から方法を探って欲しいです。出来ないことを前提にしていたら出来ないのも、実現方法を考えていただきたい。お願いします。

他、よろしいでしょうか。

他にご発言もないようですので、次に移りたいと思います。

次第の「3 その他」であります。事務局からお願いします。

【事務局】（清水係長）

それでは、事務局より報告させていただきます。

「こまき巡回バス「こまくる」の事故について」でございます。

中部運輸局が作成した「地域公共交通会議等運営マニュアル」が令和 3 年 3 月に改正され、「コミ

ユニティバスが重大事故を引き起こした場合は、地域公共交通会議等において報告等を行うこと」と記載されました。

こまき巡回バス「こまくる」の重大事故につきましては、令和4年度に自動車事故報告規則第2条に規定する重大事故が2件発生しております。その内容と安全対策について、運行事業者であるあおい交通（株）から報告を受けましたので、事務局より説明させていただきます。

1件目は、令和4年10月20日、H1舟津線「三ツ湊西」バス停において、乗客がバスから降車したものの、完全にバスから離れる前に扉を閉める操作を行ったため、扉が乗客の体に当たり転倒しました。その際に、運転手が本人に確認したところ、ケガはないとのことでしたが、翌日に病院を受診され、その結果、右手首を骨折していることが判明したものです。

2件目は、令和5年3月31日、T1篠岡光ヶ丘線「桃花台東」バス停において、乗客の着席の確認を怠り、乗客の着席前に発進したため転倒し、けがをしたものです。

今後の安全対策としまして、利用者の乗降の際は、乗降を運転手が確実に確認し、扉の開閉を行うこと、また、発車時は、ルームミラー又は目視により乗客全員の着席確認を確実に行うとともに、車内マイクでの発車案内を行うとのこととあります。以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。

事務局からこまき巡回バス「こまくる」の事故の報告について説明がありましたことについて、あおい交通松浦社長からこの件に関してご発言ありますでしょうか。

【松浦委員】

今、報告していただいたとおりで、ご心配、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

今後、毎月行っている安全教育を徹底します。併せて右折左折時の安全確認などについても徹底します。現在こまくるにデジタルタコグラフを設置して労働時間の管理や、急発進や急加速のないように指導も行っております。

今回のようなことがないよう、安全運行に心がけていきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。その他、何か発言がありましたらお願いします。

【吉野委員代理】

愛知県からチラシを2枚、お配りさせていただいています。こちらについて情報提供させていただきます。

一つ目について、マイルートというアプリのパンフレットになりますが、本県では2年前、2021年度からジブリパークの来園者にMaaSの実証実験を行っていて、今年度もその実証実験を行うのですが、トヨタファイナンシャルサービスが提供するマイルートというアプリを活用して2月15日までの5か月間、実証実験をしてみたいです。

今年度の実証実験では、このアプリの中で購入できる交通券や観光施設のデジタルチケット等、各種サービスの拡充を行っております。このチラシの左下についているQRコードから是非ダウンロードいただいて、ご活用いただけたらと思います。

もう一点、エコモビ実践キャンペーン 2023 というチラシをお配りさせていただいております。本県では車と公共交通、自転車などをかしこく使い分ける「エコモビリティライフ」を県民運動として推進していきまして、その一環として県内の企業や団体の皆様にエコ通勤を始め、エコモビを積極的に取り組んでいただくキャンペーンを実施します。皆様方におかれましても、是非ご参加いただくと共に、企業・団体の皆様へも参加を促していただければと思います。以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。せっかくですから、これについて何かございますか。
よろしいでしょうか。では、色々活用していただければと思います。
その他、何か発言がありましたらお願いします。

【伊藤委員】

福祉部長の伊藤と申します。福祉関係ですが、地域の公共交通に関係があると思いますので、1点ご報告をさせていただきます。

高齢者の移動支援ということで「買い物ツアー」という事業が始まっております。

この事業は、地域の自治会が主体となり、社会福祉法人が地域貢献という形で、稼働していない時間帯の福祉車両で高齢者をスーパーまで送迎するというものです。目的といたしましては、高齢の方が外出し、実際に商品を目で見えて買い物をすることで、認知症の改善・予防に繋げていくものであります。現在は、西之島区の雉子野地区で毎月第4木曜日に開催しており、1回の利用人数は、7人～8人程度とのことです。こうした事業が実施されているということをご承知おきいただきたく、ご報告させていただきました。以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。これについて皆様何かございませんか。
よろしいでしょうか。

こういった事業もこれから増えていくと思いますので、ご報告いただいて、交通というのは色々な形がありえると思いますので、何がどこまで許されるのかという議論も必要であれば提案等していければと思います。よろしくお願いします。

その他、何か発言がありましたらお願いします。

【事務局】（清水係長）

次回会議の日程について報告させていただきます。

次回第3回の会議の開催については、来年の年明けということで、今年については、会議開催はありません。来年の年明けということで予定しております。

今日の協議事項の内容が整い次第、改めて皆様方に順次ご連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。日程に関してでした。
その他、何か発言がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

特に発言がないようですので、進行を事務局へお返しします。

【事務局】（川島課長）

それでは、これもちまして令和5年度第2回小牧市地域公共交通会議を閉会します。
皆様、ありがとうございました。